



移動・移乗の改善が 今の介護を 大きく変える！



いまこそ、
Fine介護の実現で、
アクティブな療養生活を
実現しよう



モリトーは、安心と楽と満足を提供します！

モリトーはこんな会社でした。

完成した「首振り型床走行リフト」試作品第一号の概要は、当初の突っかい棒方式ではなく、機関車が貨車と連結するようなイメージで、ワンタッチ連結方式となった。浴室壁面の下の方にあらかじめ連結金具を左右ニカ所取り付け付けておいて、床走行リフトの左右脚部の端をこの壁面の金具にドッキングする。左右の脚部先端をしっかり固定しておけば、容易に支柱が回転でき、安全で軽い力で浴槽と洗い場を移動できるのである。

さて、実際に試せばすぐわかることだが、製品開発が突き進んでいるうちは、ほとんど周りが見えなくなっていた。浴室に床走行リフトを入れると狭い浴室がさらに狭くなる。最も落胆したのは、浴槽やドアの位置、サイズによってはリフトが入らない。入っても、リフトが邪魔で人が動けない、車いすが入らない。幅の広いドアで、広い浴室なら全く問題はないのだが・・・。

地元の展示会にも参考出展したがほとんど評価されることもなく、世に出ることはなかった。ドイツの福祉機器展に参加した時、我々が考えた「首振り型床走行リフト」とよく似たリフトが出展されているのを見たことがあって、世の中には同じような事を考えている人がいるものだと感心した。

余談だが、度重なる作り直しで無理、無駄、嫌な思いをさせないように、大まかな設計だけでは不十分と本職の機械設計士をメンバーに入れて試作品を完成したが、開発に参加した設計士から100万円近い請求書が送られてきて腰を抜かしたことがあった。今から思えば、当たり前の金額だったのかなと思うが、当時は本当にびっくりした。

30年ほどたった今、なんと稚拙で無駄で無謀なことをしていたんだろうと笑い飛ばせるが、当時は、夢と現実が混在する中で無我夢中、一喜一憂の毎日だった。当時のベテランの職人さんはじめご協力いただいた皆さんに大変なご迷惑をおかけしたことを改めて胸に刻んでおかねばと思うばかりある。

ここでくじけるわけにはいかない、新たなアイデアを考え再び製作にとりかかった。今度こそ1号機のような初歩的な失敗をしないようにと深く反省し、新たな挑戦を開始した。



Fセットの使い方
紹介動画



MORITOH CORPORATION

株式会社 **モリトー**

本社：愛知県一宮市東島町 3-36 (☎ 0120-65-2525)

営業所：札幌・仙台・埼玉・東京・中部・大阪・岡山・福岡

テレビコマーシャル全3部作ご覧ください！



入浴編



リフト編



ドライブ編

お風呂でFine介護を！ お風呂、トイレ、段差に つるべF/Uセット

安全で楽で簡単！
諦めていませんか？

快適なお風呂の介助



入浴介護で予想される危険

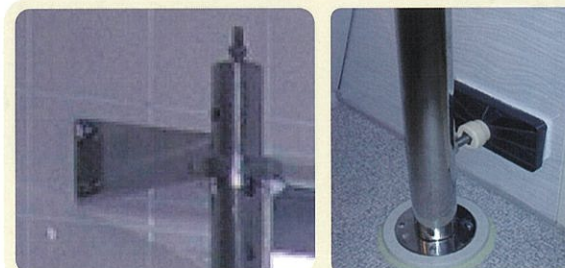
- 転倒・転落の危険 滑り、つまずき、バランスを崩し、転倒で重度化。
- 溺れの危険 湯船に沈むと自分の力で出られない。
- 筋緊張の危険 人力の無理な抱え上げや引張りで筋肉や関節を損傷。
- 表皮剥離の危険 つかむ、引っ張る介助で皮膚や筋肉を痛める。

入浴の5大効果

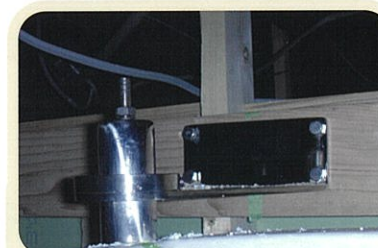
- 温熱効果 筋肉・細胞の活性化
- 水圧効果 心肺機能、排便機能に効果
- 浮力効果 体重が1/9で重力から解放
- 清潔効果 体表面の老廃物を清潔に
- 精神的効果 気分転換でリラックス



ユニットバスは、壁や床に穴をあけない突っ張り工法で施工。



壁面がRC構造や補強を入れた場合は、突っ張り棒を無くしアンカーボルトで固定。床面はゴムパットの接着固定または、ナイロンプラグ(6mmの下穴)で固定。



浴室天井に穴を開けて38mmの支柱パイプを天井裏で固定。見た目もすっきり。



床が、RC(鉄筋コンクリート厚さ120mm)構造で、しっかりしている時はΦ12mmアンカーボルト4本で固定。荷重100kgまで使用OK。